

混雑時のスペース確保で 階段撤去924万円は高いのか？

日田市議会は12月21日、市役所1階フロア階段の撤去工事費を多数で認めませんでした。日本共産党市議団は「コロナ感染防止対策として階段撤去は必要」と補正予算に賛成しました。

とそのための人を配置すると、市民が多く利用する3月、4月の2カ月間だけで157万円、1年間では650万円の費用がかかる。「発熱者をチェックしても、手続きにきた市民を断るのは難しい」「正面玄関前の広場に市民待合スペースとしてプレハブを建てる」と、解体撤去も含めて4百〜5百万円かかる」と説明しました。



市民課前は、人と人の距離を十分に取った8席の待合席設置(1月5日)

市民課前の待合スペースは、新型コロナウイルス感染防止のため8人しか椅子にかけて手続きの順番を待つことができません。3月、4月の市民課前が混雑する時期には、一番多い時で25〜26人待ちとなることが予想されます。1階フロアの階段を撤去した後は、25人が椅子にかけて待つことができるようになります。

総務環境委員会では、「階段を撤去しなくても、新型コロナウイルス感染防止対策は他に方法がある」「費用対効果が検討されていない」という議論もありました。総務課は、「市役所本庁舎の入り口4カ所に発熱者のチェックをするためにサーモグラフィカメラ

総務環境委員会では、階段を撤去しなくても、ソーシャルディスタンスをとって19人の待合席がつかれるという議員の提案もありました。これは、市民窓口の職員の見解を聞いた提案ではなく、庁内で十分検討済みの執行部の25席を確保する対案として説得力を持ちません。階段を撤去し、待合スペースを増やすことは、新型コロナウイルス感染防止対策として効果があり、必要なことです。

そもそも1階フロア階段は必要か？

1階フロアの待合スペースは、1991年の庁舎建設時と比べ約

100㎡減っています。その理由は、介護保険の相談窓口やパスポートの申請、マイナンバーカードの申請など、新たな窓口が増えたこと、市民の要望に応じて授乳室や3日以内相談窓口をつくったことです。



1階フロア階段(左上)を上る市民。利用者は少ない。

1階フロア階段の市民の利用状況は、多い日でのべ91人、少ない日でのべ28人です。市役所に訪れる市民の3〜6%です。この方たちに中央のエレベーターや階段を利用してもらえば、階段撤去後も不便になることはありません。「1階と2階をつなぐ避難経路

として必要」と階段撤去に反対する意見が、総務環境委員会でありました。総務課が「建築基準法では避難階段となっておらず、避難訓練でも使っていない」と説明しても、納得しませんでした。日田市議が、日田玖珠広域消防の消防長に確認。消防長は「火災発生時は、防火・防煙シャッターがある中央、西側、南側の3カ所の階段からの避難を呼びかけること、地震発生時の避難においても、天井からの落下物の恐れがない3カ所の階段からの避難誘導を行う」と話しています。

12月議会
補正予算

階段撤去で市民の待合スペースを増やすことの是非を問う